

PASネット通信

ほっとニュース

第13号

春です！

皆さんお元気ですか？

全国的に春ですね。西宮でもさくらが咲き始めています。でも、まだ寒い日もあるのでお気をつけ下さい。

さて、今回は3月14日に行ったセミナー報告を中心にお伝えいたします。

1. 第2回PASネット権利擁護支援セミナー報告

去る3月14日（日）、第2回PASネット権利擁護支援セミナーが西宮市勤労会館ホールにて行われました。（写真）今回のテーマは「地域における権利擁護」です。セミナーには約100名の方が遠く北海道や千葉県からご参加いただきました。

基調報告ではPASネットの活動内容が報告され、「権利擁護なんでも相談」の延べ相談件数が2003年4月～12月で78件になること等が示されました。続く記念講演では、大阪府立大学の藤井博志さんより地域福祉計画に権利擁護の課題を位置付けることの重要性が強調されました。

午後のパネル1では、「成年後見制度の現状」をテーマに、参加者それぞれの立場から状況報告が行われました。本田佳美さん（宝塚市健康福祉部長寿推進室いきがい福祉係長）からは宝塚市における市長申し立ての状況（累計で9件、2003年度中にあと3件の手続きを予定）や対応の実態が、迫田博幸さん（成年後見センター・リーガルサポート兵庫県副支部長：PASネット理事）からは成年後見センター・リーガルサポートの活動状況や成年後見の受託状況（兵庫県支部では平成16年1月までで任意後見契約等が14件、成年後見人への就任等の法定後見支援が101件となっている）等が、そして上田剛弘さん（こうべ安心サポートセンター所長）からは、権利擁護相談事業（平成15年度は2月末現在で1476件）や法人後見事業（任意後見60件、法定後見30件）の状況が報告されました。

さらに、コーディネーターの谷村さん（兵庫県弁護士会：PASネット副理事長）より事例が提起され、この検討を通して成年後見制度利用の現状の課題

が具体的に検討されました。



またパネル2では、「地域における権利擁護支援をどうすすめるか」をテーマに進められ、藤井教子さん（全国消費生活相談員協会理事長）からは、消費者被害が増大し、高齢者・障害者の消費者被害も増えており、各地の消費生活センターが対応に追われているにもかかわらず厳しい条件に置かれていることが強く訴えられました。松井美弥子さん（兵庫県手をつなぐ育成会理事長）からは、支援制度になって事業者の対応がシビアになる中で、事業者が損害賠償責任を負わない場合を延々と書き連ねる契約書を示す施設の対応等が報告されました。また吉川和幸さん（せいれいケアプランセンター宝塚係長）からはケアマネージャーのアンケート調査をもとに利用者の権利状況に不安を抱えている状況が事例を交えて報告されました。

少し専門的な内容もありましたが、いずれも現状の課題を明確に示し、PASネットのような取り組みの重要性を改めて確認させるものとなりました。

参加者の皆さん、ご後援いただきました各団体、ご協力いただきました講師・パネラーの皆さんに感謝いたします。

本当ありがとうございました。今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

4. お知らせ

① セミナー資料集等の販売について

3月14日(日)に行われた第2回PASネット権利擁護支援セミナーの当日資料集を下記の要領で販売いたします。

1冊 500円(3冊まとめた場合は1000円です)

* また国民生活センターの「知的障害者、精神障害者、痴呆性高齢者の消費者被害と権利擁護に関する調査研究」も販売しています。こちらは1冊1000円です。(なお、当日資料集とあわせてお申し込みの場合は、1冊850円とします)

お申し込みは、ご希望の図書の数、お送り先を明記の上、FAXまたはメールでご連絡ください。代金は送料を加えた振込用紙を同封いたしますのでお近くの郵便局でお振込み下さい。

よろしくお願い致します。

② 4月の運営委員会

4月は27日(火)19:00～ 西宮市総合福祉センターです。

この日は2004年度の事業計画についての検討を予定しています。